



# かかみがはら



2012年5月15日号 No.148



## 地域とつながる子育てを

3月9日(金) 子育ての助けあいを応援するファミリーサポートセンター事業の交流会を行いました。

mottoひょうごの栗木剛さんを講師に迎え、子どもに楽しんでお手伝いをしてもらえるコミュニケーション術や地域とのおつきあいが子どもに良い影響をあたえる実例等をお話いただきました。



この広報紙には、皆さんの会費と赤い羽根共同募金が使われています。

各務原市協ウェブサイト <http://www.kakamigahara-shakyo.jp/>

# アットホームな雰囲気を感じる 「たんぽぽハウス」を訪れて

平成23年の11月に新たなボランティアハウス「たんぽぽハウス」が太平町1丁目に誕生しました。会場となるのは、縫製業を営んでいた伊部さんの作業場。ちょうど町内の真ん中に位置しています。取材にお邪魔した3月23日はあいにくの雨降りでしたが、続々と町内の住民が集まってきました。



## ハウスが立ちあがるまで

作業場を利用していただくきっかけとなったのは、高齢者宅を訪問している民生委員さんから「町内にも集まれる場所があればみんなきつと喜ぶと思うけど、利用できないかなあ」と伊部さんに相談したことが始まりでした。その思いは、家主である伊部さんをはじめ、地域の役員さんも皆同じ思いであったことが明らかとなり、ボランティアハウスの立上げについて検討することになりました。

作業場の2部屋を空けていただけ、町内の方が集まれる広さは確保することができましたが、水場がなかったり、和式トイレなどの不安があり、社協の事務局に相談がありました。

これらの問題は市の「支えあいの場づくり補助金」を利用し、洋式トイレの改修、手すりや水場の設置をするなどで解決できました。その他、机や椅子などは、町内の方で持ち寄り、会場が足りなくなりました。

## ハウス活動の様子

このたんぽぽハウスは、伊部さんのハーモニカに合わせて「早春賦」「春



一番の不安だったトイレ

が来た」と季節に合わせて歌うことから始まりました。

この日は、乳酸菌飲料メーカーの職員を講師に招き、腸の健康について、冗談を交えながらお話いただきました。その横では、地域包括支援センターの看護師が血圧を測ります。その後タオル体操や頭の体操をしたり、お茶を飲みながらの雑談をしたりと、楽しいひと時を過ごしていました。

## みなさんインタビュー しました。

### 【女性の参加者】

月1回のたんぽぽハウスに参加するのが楽しみです。少し家が離れているから、同じ町内の人かどうかもわからなかったけど、これが始まってから新しい出会いの場になって、道ですれ違ってもおしゃべりするようになったわ。家にいてテレビを見てい



笑顔あふれる女性参加者

ても、面白い内容でも一人じゃ笑えないもの。ここに来るとね、笑えるの！役員さんが、クリスマス会やぜんざい会などいろいろ考えてくれて、それも楽しみだしね。今日みたいに雨の日だからこそ、集まっておしゃべりしたいわ。雨降りの日って気持ちもどんよりしちゃうもの。特別な服はないけど、おしゃべりにも気を使うようになったわ。血圧も測ってもらえるし、ちょっとした気になることも話せるのよ。ありがたいわ。

### 【男性の参加者】

家にいると本当に声を発することがないんだよね。特別、おしゃべり好きではないんだけど、隣に座った方と「最近、体の調子はどうだい。」と話をす

るだけでもいいんだよ。こういう機会が設けられたのは嬉しいねえ。



横山宏昭さん

## 【ボランティアのみなさん】

自宅を訪問して声掛けをしていたが、ボランティアハウスに参加していただくことで元気であることが確認できることはいいですね。どうしても、みんなに迷惑をかけるからと遠慮される方もいるのですが、ご自宅まで誘いに伺っています。



ボランティアのみなさん

## 【代表の横山さん 副代表の浅野さん】

(お互い)よくやってくれている。民生委員さんも、伊部さんも協力してくださるし、みんなよくやってくれている。町内の人も大勢来てくれるし、いい感じで進められている。

(町民の変化についての問いに)そうそう、町内の総会をおこなったけど、

## 【民生委員さん】

このハウス便りとても良く出来ているでしょ。代表の横山さんが作られているのですよ。こんな楽しそうな案内だったら、みんな参加したくなりますよね。副代表の浅野さんは写真担当で、参加者が少しでも便りに載るよう工夫していただいています。



ハウス便り



代表 横山幹男さん(左)  
副代表・会計 浅野正治さん(右)

## 取材を終えて

とても家庭的な雰囲気に含まれていたボランティアハウスでした。その理由を考えると、民家で開催していること他に、家主の伊部さんをはじめボランティアさんも率先して夫婦で参加されており、男性も参加しやすい雰囲気を作りあげていたのです。また、代表の横山さんは、すべて一人で行うのではなく、役割を分担し、「みんなで作上げるボランティアハウス」という雰囲気を作り出すことも心がけているとのことでした。



◀頭の体操  
▼タオル体操

## 年間活動予定

- 4月 点訳ボランティア養成講座 (16日)～9/10  
音訳ボランティア養成講座 (17日)～7/24  
社協支部長・福祉推進員合同会議 (20日)
- 5月 理事会・評議員会 (28日)  
広報「社協かかみがはら」発行 (15日)
- 6月 第1回市民福祉講座 (3日)  
お達者でクッキングの開催 (13日)  
知的障がいについて学ぶ楽しい講座 (16日)～9/15
- 7月 手話奉仕員入門課程養成講座 (5日)～12/20  
自治会連合会長・社協支部長合同会議 (17日)  
広報「社協かかみがはら」発行 (15日)
- 8月 社協会員募集月間  
手話奉仕員基礎課程養成講座 (23日)～12/20
- 9月 各務原市福祉フェスティバル2012 (9日)  
支えあいサポーター塾の開催 (5日)～2月
- 10月 赤い羽根共同募金運動 ～12月  
広報「社協かかみがはら」発行 (15日)
- 11月 障がい児者ウォーキング大会  
第2回市民福祉講座
- 12月 第3回市民福祉講座  
理事会・評議員会
- 1月 各務原市社会福祉大会 (22日)
- 2月 広報「社協かかみがはら」発行 (1日)  
社協支部長・福祉推進員合同会議
- 3月 理事会・評議員会開催



ファミリーサポート事業を展開します



福祉活動への理解者を増やす事業をおこないます



ボランティアの育成事業をおこないます



「知的障がい」を学ぶ講座をおこないます



質の高い介護サービスを提供します  
居宅介護・訪問介護・訪問入浴・デイサービス



高齢者の食について学びます



ボランティア情報をメール  
配信します。



配信登録はこちら  
のQRコードから

ボランティア情報等の発信をします

## 平成24年度の事業計画・予算が決まりました

### 重点事業

- ・住民が主役となり展開していく支部社協活動の推進
- ・声かけと見守り活動を中心にした近隣ケアグループ活動の啓発
- ・地域の身近なよりどころ、交流の場であるボランティアハウスの充実
- ・生きがいや楽しみを感じながら取り組めるボランティア活動の実践
- ・地域資源を活用した質の高い介護保険サービスの提供



支部社協活動を推進します



ボランティアハウス活動の充実を目指します



福祉フェスティバルを開催します



近隣ケアグループ活動を支援します



### 事業予算 総額 344,328千円 (繰入金を除く)

- ・地域福祉活動に ..... 45,176千円
- ・ボランティア活動に ..... 2,060千円
- ・福祉移送事業に ..... 2,756千円
- ・日常生活自立支援事業に ..... 4,427千円
- ・貸付事業に ..... 51,237千円
- ・川島園デイサービス事業に ..... 4,193千円
- ・法人運営等件費に ..... 61,339千円
- ・地域包括支援センター事業に ..... 29,570千円
- ・介護保険事業に ..... 143,570千円

詳細は各務原市社会福祉協議会のウェブサイトに掲載しております。  
アドレス <http://www.kakamigahara-shakyo.jp/>  
top ページ ⇒ 社協のすがた ⇒ 事業・会計(計画・報告)からご覧になれます。

# 声かけからはじまる 近隣ケアグループ活動

地域の中で人々がつながりを深め、助けあうことの大切さが見直され、支部社協活動やボランティアハウスなど地域住民による仲間づくりが活発に行われています。しかし、毎日の生活を安心して過ごすためには、より身近な住民による普段の暮らしのなかでの見守りや助け合いが必要です。

近隣ケアグループ活動は、市の委託を受けて社会福祉協議会が進める「近所さんならではの「声かけ」や「見守り」を通して支援が必要な人をお互いさまの関係で支える地域福祉活動です。

\* 近隣ケアグループは、概ね自治会を単位として3から10名程度の人数で活動することを基本とし、現在は、292グループ・2042人に登録いただいています。

早朝、犬の散歩をしながら近所に声かけをして回るAさん。一人暮らしの高齢者宅の雨戸が開いていれば「今日もお元氣だわ」と一安心。いつもはもう新聞が取られているのにまだのお宅



があれば「もう一度帰りに寄ってみよう」とちよっと気にかけてる。買い物の時、顔見知りの高齢者夫婦に会

えば「こんにちは。おかわりない？」と声をかける。「おかげさまで。でも、最近主人の物忘れが多くなった」と聞けばさりげなく見守る。活動するなかの困りごとや難しい内容の話であれば、民生委員児童委員さんや自治会長さん、また社会福祉協議会や地域包括支援センターにつなげています。

\* 近隣ケアグループ活動は、「声かけて困ったときはお知らせを見守りながらつなぐ近所」のキャッチフレーズのもと誰でも気軽にはじめられるボランティア活動です。



## ご協力ありがとうございます 東日本大震災義援金お礼

岐阜県共同募金会各務原市支会

このたびの義援金募集では、多くの方々のご協力により下記のとおり、多額の善意を頂きありがとうございます。義援金の募集については平成24年9月30日まで引き続き募金活動を行なっておりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

平成24年3月31日現在の募金額

**2,624,372円**

- 受付場所 岐阜県共同募金会各務原市支会 (総合福祉会館2階 社会福祉協議会)
- 振込の場合 各金融機関窓口 (振込先および手数料免除については各金融機関窓口におたずね下さい。)

## 第1回 市民福祉講座の開催について

社会福祉協議会では、だれもが住みなれた地域で安心して暮らし続けられるまちを目指して地域福祉活動を展開しています。

今回は「東日本大震災から学ぶ見守り活動の大切さ」と題して、第1回市民福祉講座を開催いたします。



池田昌弘氏

近隣ケアグループの活動についての説明と講師にNPO法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長の池田昌弘氏を迎えて講演会を開催します。地域の見守り活動に興味のある方の参加をお待ちしています。

- 日時 平成24年6月3日(日) 午後1時30分～3時30分
- 会場 各務原市民会館(蘇原中央町)
- その他 入場は無料です。

## 福祉のお仕事

精神保健福祉士  
田口省司さん

1958年生まれ、奥さんと一男・一女の4人家族。岐阜県ソフトボール協会の競技役員としての顔も。ぎふ清流国体の運営を支えている。



精神保健福祉士を目指したきっかけは

聞かれて困ってしまうのですが、熱い想いで目指したのでなく、大学時代にたまたまこの職の先輩の目にとまり勧められて、それから意識したぐらいです。

どんな仕事をされていますか

精神科病院で相談員をしています。医療行為以外、オールマイティに仕事をしています。

ご家族や患者様からの問い合わせ

せや相談にのること、入院先や関係機関への紹介、引き継ぎなど様々です。銀行の窓口へ同行して出かける支援など院内だけにとどまりません。より相談者に近い存在でデスクワークでなく現場に近い感覚ですね。

心がけていること

精神に疾患がある方は、自分の考えをまとめたり、意思決定や判断に迷うことも多いので、よき助言者になれたらと思っています。また「傾聴」といいますが、相談者の思いや話を十分聴いたり引き出したりすること、うまくまとめられない心の声を受け止め、医者などへ本人の代わりに伝えることもこの仕事の重要な役割です。なんでも相談できる話し相手や同級生のような感覚で接していただけるような心がけています。

精神に疾患がある方とのつながり

この仕事をしていなければ、精神に疾患がある方とのつながりはなかったかもしれません。また、みなさん「こわいな」という素朴な偏見があると思います。

統合失調症は100人に一人、うつ病は50人に一人がかかるとも言われるほど意外に身近な病気です。このような心に病をもたれた方々のお手伝いできればと思っています。

やりがいと自分の役割

ご本人の背中を押すことは簡単ではありませんが、退院した先でうまくやっていますなどと聞くとうれしくなります。今まで培ったネットワークをとおして、みなさんの気持ちを楽にできたらと思っています。

精神保健福祉士は社会保障や介護制度などにも精通しています。病院だけでなく多くの職場にいるので気軽に相談してほしいと思います。

精神保健福祉士に求められる資質をたずねると、人と接することが好きなことと冷静に過去を振り返り、修正ができる柔軟な考えの持ち主と言われた田口さん。とても優しいまなざしと語り口。温かな人柄を感じたインタビューでした。

(聞き手・文責/土屋直樹)

## ボランティア紹介 77 点字サークル あげぼの会

あげぼの会は、おもに社協主催の点訳ボランティア養成講座を修了した人たちの集まりで、現在の会員は39人です。

一番大事にしている活動は、市や社協の広報紙の点訳です。記事を抜粋し、点訳ソフトを組み込んだパソコンに入力し、点字プリンターで打ち出します。40～50ページ程度の点訳広報を月二回、視覚障がいのある方々に送付しています。

その他には、図書や依頼のあった文書などの点訳をしたり、小・中・高等学校の福祉教育で、点字の授業のお手伝いに出掛けることもあります。

また、より正確な点訳をするために月一回学習会をもち、点訳のきまりを勉強したり、分かち書き(点訳独特の文の区切り方)や点字を読む練習をしています。

何年たっても点訳は難しくまちがえることもありますが、みんなで教えあって和気あいあいと活動しています。皆さんも一緒に点字の勉強をしてみませんか。



募集!

### 手話(はな)してみよう

手話奉仕員養成講座

耳の不自由な方にとって大切なコミュニケーション手段の一つである手話を学びます。

#### 入門課程(初めて手話を学ぶ方)

日程 8月23日~12月20日までの毎週木曜日  
午後1時~3時 (全18回)

会場 総合福祉会館 3階集会室他

受講料 1200円(テキスト代)

#### 基礎課程(入門課程を修了した方)

日程 7月5日~12月20日までの毎週木曜日  
午後7時~9時(10月11日、11月22日をのぞく全23回)

会場 総合福祉会館 3階集会室他

受講料 1470円(テキスト代)

講師 各務原市聴覚障害者協会

協力 手話サークル「はにわ会」

定員 40名(定員になり次第締切り)

#### 申込み

社会福祉協議会 総務課

☎ 058-3833-7610



### ご存知ですか。 「福祉ヤクルト運動」

この運動は、岐阜ヤクルト販売株式会社、ヤクルトの売上金の一部を福祉充実に役立てようと昭和52年から実施しているものです。このたび各務原市社会福祉協議会に社会福祉事業を実施するための車両の購入費の贈呈式が行われました。贈呈式では、岐阜ヤクルト販売株式会社小林英春取締役常務執行役員のあいさつに続いて、ヤクルトレディから目録が贈呈されました。地域を駆けまわる車両として使わせていただきます。



募集!

### 食卓をみんなで囲もう! お達者でクッキング

目に青葉 山ほととぎす 初鰯。よい季節になりましたね。おいしい旬のものがたくさん浮かんできます。おいしいものをワイワイ作って楽しむ『お達者でクッキング』。大勢で作ったり食べたりすることで、おいしさも倍増します。おなかをすかせて是非ご参加ください!

日時 6月13日(水) 午前10時~午後1時

会場 総合福祉会館 3階料理室

対象 一人暮らしの高齢者・高齢者夫婦の方

参加費 500円(材料費)

定員 25名

協力 市生活改善協議会

申込み 6月5日(火) までに電話で

社会福祉協議会 総務課

☎ 058-3833-7610



募集!

### 知的障がいを理解する講座

「知的障がい」についてもっと知ろう! をテーマに、障がいを理解するための講義と子どもたちの簡単な調理実習をおこないます。一緒にホットケーキなど作って食べたり、楽しいひとときを過ごしませんか?

日時 6月16日、7月21日、8月18日、9月15日の4回講座

いずれも土曜日 10~12時

会場 中央ライフデザインセンター 大会議室他(蘇原中央町2)

参加費 無料(調理実習時200円)

対象 知的障がいに関心のある方

募集人員 25名

申込み 当事者の参加も大歓迎です。

社会福祉協議会 総務課

☎ 058-3833-7610

### 社協ブログ始めました

ホットな話題や社協の日常を写真とともに随時更新しています。各務原市社会福祉協議会のウェブサイトにも随時更新しています。各務原市社会福祉協議会のウェブサイトにも随時更新しています。各務原市社会福祉協議会のウェブサイトにも随時更新しています。

アドレス <http://kakamigaharashakyo.blog.fc2.com/>



### 善意のご寄附をいただき誠にありがとうございました

敬称略 順不同 平成24年1月1日~平成24年4月4日

【金 銭】	
各務原商工会議所女性会	20,000円
東濃信用金庫 鵜沼支店	714円
岐阜ヤクルト販売(株)	1,268,000円
アピタ各務原店	39,767円
ユーホーム各務原店	10,000円
ピアゴ各務原店	33,893円
かかみがはらパッチワーク・キルト展運営委員会	30,000円
ぎふしん愛の募金 事務局	60,000円
波多野耕三	18,000円
前田五十子	16,816円
匿名7件	計249,582円

【物 品】	
黒野会館、東濃信用金庫鵜沼店	
小林 啓子、夢屋 各務原店	
NPO法人共同作業所星の村、匿名2件	

### ひとりごと

一昨年、自宅の庭にレモンの木を植えました。子どもには「実がなるまでのお楽しみ謎の植物」と言っておりあります。昨夏に花は咲きましたが、実は付かず、その正体は不明のままとなっています。今冬はともなう終わってしまわないかと心配しましたが、なんとか枯れず春を迎えることができました。いつの日か、大きく育った木の下から黄色い実がたくさんぶら下がる日を、そして、もぎたてレモンをかじる日を一人夢見ています。「一人」と言うのも子どもたちは全く「謎の植物」に興味を示さなくなっているからです(笑)。

田中新樹